

令和5年度 第1回河南町総合教育会議 議事要旨

日 時 令和5年4月24日（月） 午後3時45分～午後4時10分

場 所 河南町役場 4階401会議室

出席者

町長	森田 昌吾
教育長	中川 修
教育委員	藤原 充
教育委員	高井 美恵子
教育委員	杉田 みはる

（町職員出席者）

教・育部 谷部長、内山副理事、教育課 藤井課長、こども1ばん課 山田課長
生涯まなぶ課 森課長、学校給食センター 浅井所長

事務局：総合政策部 渡辺部長、秘書企画課 森口課長、高山課長補佐

傍聴者 なし

1 開会

（森口課長）

本日は、お忙しい中、令和5年度第1回河南町総合教育会議に、ご出席いただき誠にありがとうございます。

……会議の公開について確認・・・公開とする

……傍聴者確認・・・なし

それでは、令和5年度第1回河南町総合教育会議を始めさせていただきます。まず初めに、配布資料の確認をさせていただきます。

……配布物確認

それでは、お手元の次第に沿って進行させていただきます。

まず始めに、森田町長からご挨拶申し上げます。

2 町長挨拶

（森田町長）

皆さんこんにちは。本日は今年度第1回目の総合教育会議ということで、ご出席いただきありがとうございます。

この会議の前に教育委員会の定例会議があったということで、長時間になりますが引き続きよろしくお願いします。

4月に入り新年度が始まりました。教育委員会におきましても部長以下、体制の方が変わっておりますので、また新体制でよろしくお願ひしたいと思います。それから、コロナ対策につきましては、定例会議の方でも話が合ったかと思いますが、今度の連休の明け5月8日から5類に移行ということで、これはもう既定路線と考えております。学校の方でもどういった行事をコロナの中でやっていくかということを考える年になるかと思ひますので、町におきましてもイベントなどいろいろなことを進めていきます。それから、ワクチン接種について、子どもへの接種は引き続き行いますが、64歳以下の方への接種はこの5月7日で一旦打ち切りとなります。今後、年1回のワクチン接種がありますけれども、64歳以下の方については秋頃にまた予定を組んで案内させてもらうことなるかと思ひます。ただ、65歳以上の方は年2回で前半と後半に分けるということで、その前半部分として5月20日に第1回目の集団接種を予定しています。都合5回程度で65歳以上の方の前半部分の接種を行うということで、場所も前回と同じかなんぴあで実施ということになります。そのあたりも踏まえまして、この対策も万全を期してやっていきたいと考えていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

また、4月からはこども家庭庁ができて、やはり子ども一番の施策、町でもこれまでこども1ばん課というネーミングで子どもが一番ということでずっとやってきたところですが、なお一層やはり子どもを中心として周りも含めて考えていくということで行政を進めていきたいと思ひますので、これからのご協力、ご指導・ご鞭撻をお願ひ申し上げまして、開会にあたってのご挨拶といたします。

(森口課長)

これからの議事進行につきまして、河南町総合教育会議運営要綱第5条に基づき、町長に議長を務めて頂きます。森田町長よろしくお願ひします。

(森田町長)

それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思ひます。

議題(1)は「第2次河南町教育大綱について」です。事務局より説明をお願ひします。

3 議題

○ 議題(1) 第2次河南町教育大綱について

(資料1「第2次河南町教育大綱(案)」により、高山課長補佐から説明。)

<質疑応答>

(森田町長)

ただいま事務局より説明がありました。前回の会議でいろいろ意見をいただきまして、それらを踏まえた修正等を行った上での案となります。何かご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(藤原委員)

まず、この基本理念及び基本方針ですが、これはよく言われるPDCAサイクルのPlanの部分、そして、次の基本目標は実際に実行しなければいけないDoの部分にあたると思います。この基本目標における(1)確かな学力の定着と学びの深化の中で私が一番気にかけていることが、まず、この上から4番目の「グローバル社会を見据えた英語教育・ICT活用の推進」、そこからさらに3つ下にある「夢や志を持って粘り強くチャレンジする姿勢の育成」です。私自身も幼児教育、それから子ども達の教育に対して、いかに子ども達をたくましく育むことができるか、ということを本当に27年間いろいろ考えております。今回、この2つのテーマについて、この大綱に基づき今ビジネスにおいてICTを通じた企業がどういう動きをしているのか、どういう動きをした企業が世界に冠たる企業に成長しているのか、ということをレポートにまとめてみましたので、皆さんで共有したいと思います。この「確かな学力の定着と学びの深化」の中で、特に私が日頃から気にかけて非常に興味を持っている分野、これがグローバル社会を見据えた英語教育・ICT活用の推進、そして夢や志を持って粘り強くチャレンジする姿勢の育成ということで、レポートをまとめてみましたので読み上げさせていただきます。

「グローバル社会を見据えた英語教育・ICT活用の推進について」としまして、なぜ教育現場で優先されるべきかをビジネスマンの視点から意見を述べ、皆さんと共有したいと思います。アナログといわれる対面授業からPC、タブレット、電子黒板などのデジタル機器の導入、インターネットを介した学習支援ツールの活用、これをICTと言います。その目的は子ども達の情報活用能力の育成を目指すものです。

今やビジネス世界では、ワールドワイドに飛び交うビッグ・データをAIファーストで分析し、世界中の膨大な情報やコミュニケーション、行動をデジタルデータ化して、それらを広告収入として収益化するビジネスモデルを構築することで、グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン、これを総してGAFAといいます。この4社だけで日本円換算で約84兆円の売上高になっています。国家予算を超えるほどの巨大企業に急成長しているわけです。参考ですが、スイスの国家予算は約8兆3000億円、日本の国家予算は今年度過去最大で約140兆円になります。また、フェイスブックの月1回以上ログインするユーザー数は2020年6月集計の数値で何と27億人です。フェイスブック社のビジネスモデルは、人と人がつながるためのプラットフォームを提供し、より多くの人々を

プラットフォーム上に集めて、最適化した広告で収益を上げるものであり、これによって莫大な収益を上げています。このように情報を効率的に収集分析し、人の行動・嗜好パターンをAI分析して新たなビジネスチャンスにする、という仕事のやり方を制したものが世界に羽ばたける時代となりました。

次に、なぜICT教育が必要なのかといいますと、①世界から取り残される日本のICT教育、②学校のICT環境は脆弱かつ危機的状況下にある（2018年度の調査資料によると、OECD加盟国37か国中、日本は学校授業におけるデジタル機器の使用時間が最下位）といった理由があり、政府はこの状況に危機感を持っています。ここで大切なことは、ICT活用自体が最終目的ではなく、1人1台端末と高速インターネットをツールとして、私たちが目指すのはこれからのSociety5.0時代、予測不能な未来を生きる子ども達のための「個別最適化され、創造性を育む教育の実現」にあるのではないのでしょうか。また、AIというキーワードですが、これからますます人々の生活空間に浸透します。しかし、AIには弱みもあります。それは、ゼロから創造して物事を集約する能力、集団の中で様々な意見を分析してまとめ上げる能力、さらには人の感情を読み解き、気づく能力などです。これら総合的に人間力を高める教育とマインド面で決して諦めない強い心と失敗しても何度でも挑戦する勇気を育むことが、Society5.0時代に生きる子ども達への最高の贈り物になると私は確信しています。

ということで、レポートの内容は以上です。今回のこの教育大綱について、今後やはり現場では、ここにおられる幹部職員の皆さんがリーダーシップを取られるわけですが、改革というのは本当に産みの苦しみで大変な作業です。労力もいるし、いろいろな抵抗もあります。だから本当に町にいらっしゃる職員の皆さんが信念と覚悟を持って、愛すべき河南町の子ども達のために取り組んでいただきたいという思いです。私からは以上です。

（森田町長）

熱い想いを語っていただきましてありがとうございます。今のインターネット時代において、子ども達はパソコンやタブレットを使っていろいろな情報を収集することができるようになりました。また、人間より圧倒的に思考スピードが速い人工知能いわゆるAIが登場したことで、その思考スピードについていけるような子ども達を育成することが非常に大事ではないかと考えています。ただ、その一方で、やはり途中で負けてしまうことなく、チャレンジし続けることができるような強い心の育成もとても大切であると、ただいまの藤原委員のお話を聞いて思いました。

(森田町長)

他に何かございませんか。ないようでしたら、この教育大綱を町における大きな枠組みとしまして、子ども達への教育、そして社会教育や社会体育を進めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、次第の方で(2)その他がありますが、この機会ですので、何かございましたらご発言いただければと思います。

○議題(2)「その他」

(一同)

特になし

4 閉会

(森田町長)

ないようですので、これをもちまして、今回の総合教育会議を終了といたします。進行を事務局にお返しします。よろしくお願いいたします。

(森口課長)

これをもちまして、令和5年度第1回総合教育会議を終了させていただきます。本日の会議の概要につきまして、運営要綱第8条に基づき、後日町ホームページ上で公表させていただきます。

議事録ができましたら、各委員にもご確認いただきたいと思いますので、併せてよろしくお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。